

株主の皆様へ

第81期 中間報告書

2019年4月1日から2019年9月30日まで

TOMOKU

Packaging Innovation

証券コード 3946

株式会社トーモク



TOMOKU

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第81期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速の動きなどにより製造業を中心に企業マインドがやや弱含んでいます。個人消費は堅調に推移し、設備投資は人手不足を背景とした自動化・省力化投資に下支えされ増加基調にあり、また公共投資等により景気は緩やかに回復しています。一方、消費増税後の消費低迷が懸念されることや、海外経済も通商問題を巡る緊張も長期化の様相を呈し、下振れリスクが高まりつつあります。

その中で当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は833億32百万円（前年同期比5.6%増）、経常利益は17億35百万円（同3.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億75百万円（同5.4%減）となりました。

セグメント別の業績は次ページに記載の通りでございます。

当社グループは、生産力の強化や品質面での一級品作りを積極的に推進するとともに、時間外労働の削減、年次有給休暇の連続取得、ダイバーシティの推進、ネットワークツールの活用による業務の効率化等の「働き方改革」を強力に推し進めております。また、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保できるよう、荷主・物流当事者として主体的に改善を進めております。

通期では連結売上高1,850億円、連結経常利益80億円、親会社株主に帰属する当期純利益50億円を見込んでおります。

以上ご報告の通りでございますが、中間配当金につきましては1株につき20円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解をいただき、より一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 中橋 光男

セグメント別業績

段ボール

売上高 504億92百万円 (前年同期比9.3%増)
営業利益 28億 1 百万円 (同3.6%増)

段ボールの需要は、大型連休特需はありましたが、その後の長梅雨の影響で需要の盛り上がりには欠け、また消費増税前の仮需の影響が軽微であったことから、全国生産量はほぼ前年並みの見通しであります。

当社グループの段ボール生産量は、シート販売が堅調に増加し、食品向けや通販・宅配向け等の需要増により、生産量は全国の伸びを上回り、また前年同期比増加しました。

館林工場では加工機を最新鋭の高速印刷機に更新し、浜松工場でも印刷機を入替え、両工場の生産能力は大幅に増加しました。また、青森工場では多品種小ロット生産対応に優れた印刷精度の高い印刷機に更新し、お客様への対応力の向上を図りました。

印刷紙器部門では、都内に年初開設したデザイン室機能も有したプレゼン・ステーションを積極活用し、提案品の開発や商品設計・提案の迅速化を進めております。

開発部門では、需要拡大が続く通販・宅配のユーザーニーズに応えるべく輸入包装機械の販売に注力し、現在、段ボールケースとのセット販売に取り組んでいます。また、小売店での商品陳列における迅速化・省力化を目的にシェルフ・レディ・パッケージ (SRP) の段ボールケースを考案し、昨年は公益財団法人日本デザイン振興会主催の「グッドデザイン賞」を、今年には公益財団法人日本包装技術協会主催の日本パッケージングコンテストで「輸送包装部門賞」を受賞しました。

海外では、連結子会社のトーモクベトナム社は現地の段ボール需要増から生産量は好調に推移しております。また、米国段ボール子会社のサウスランドボックス社では工場拡張工事が順調に進んでおります。



拡張工事中のサウスランドボックス社

住宅

売上高 127億70百万円 (前年同期比4.4%増)
営業損失 18億35百万円 (前年同期は営業損失21億2百万円)

住宅事業においては、スウェーデンハウス(株)が快適性能No.1のアピールと価値の持続する家作りを基本に「オリコン日本顧客満足度ランキング」で5年連続第1位の受賞を積極的に訴求するとともに、お客様への安心感と高級ブランドイメージの浸透に取り組んでまいりました。当期におきましては、スウェーデンハウスプロデュースの分譲住宅(エステルマルム)、平屋規格商品(レットナード)、高級商品(レイディアンス)等を連続してリリースし、受注拡大を図ってまいりました。一方、住宅展示場来場者数は前年比マイナスが続いており、低金利・税制優遇等の好条件はありながらも買い急がず、様子見・長期化のお客様が目立つという住宅取得に対する慎重な動きから受注棟数は前期を下回りました。

一方でリフォーム部門では消費税増税前の需要もあり、増収・増益となりました。



駒沢モデルハウス

運輸倉庫

売上高 200億68百万円 (前年同期比1.9%減)
営業利益 10億83百万円 (同5.5%減)

運輸部門においては、新規取引先による取扱量の増加がありました。主力の清涼飲料関係の貨物が長梅雨・低温の影響を大きく受け、貨物全体としての取扱量は減少しました。また、車両不足によりコスト増となりました。

倉庫部門においては、天候不順により荷動きが低調であったことから、在庫量の増加により外部倉庫賃借料等のコストが増加しました。

ホワイト物流への取組み

当社は、国土交通省・経済産業省・農林水産省が提唱する「ホワイト物流」推進運動に賛同し、自主行動宣言を提出しております。

「ホワイト物流」推進運動は、深刻化が続くトラック運転者不足に対応し、国民生活や産業活動に必要な物流を安定的に確保するとともに、経済の成長に寄与することを目的に、①トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化、②女性や60代以上の運転者等も働きやすい「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動であります。

当社グループは、この「ホワイト物流」推進運動に対して、荷主企業・物流事業者として主体的に提案してまいります。物流の安定確保と物流効率化による温室効果ガス排出量の削減を目指すとともに、物流に従事されている方の労働環境改善につなげたいと考えております。

四半期連結財務諸表（要旨）

●売上高	833億32 百万円（前年同期比 5.6%増）
●経常利益	17億35 百万円（前年同期比 3.9%減）
●親会社株主に帰属する 四半期純利益	9億75 百万円（前年同期比 5.4%減）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日現在)	前連結会計年度末（ご参考） (2019年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	59,610	56,363
固定資産	88,724	86,154
有形固定資産	73,307	70,254
無形固定資産	227	249
投資その他の資産	15,189	15,650
資産合計	148,334	142,517
負債の部		
流動負債	46,994	43,352
固定負債	39,103	36,981
負債合計	86,098	80,333
純資産の部		
株主資本	58,593	57,871
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,235	11,235
利益剰余金	38,007	37,285
自己株式	△ 4,319	△ 4,318
その他の包括利益累計額	3,081	3,791
非支配株主持分	560	520
純資産合計	62,235	62,184
負債純資産合計	148,334	142,517

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年9月30日まで)
売上高	83,332	78,899
売上原価	70,006	66,192
売上総利益	13,325	12,707
販売費及び一般管理費	11,661	11,292
営業利益	1,663	1,415
営業外収益	391	553
営業外費用	319	161
経常利益	1,735	1,806
特別損失	93	115
税金等調整前四半期純利益	1,642	1,691
法人税、住民税及び事業税	1,267	1,263
法人税等調整額	△ 649	△ 657
四半期純利益	1,024	1,086
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	55
親会社株主に帰属する四半期純利益	975	1,030

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
配当金支払株主確定日	期末配当金につきましては3月31日、中間配当金の支払いを行う場合は9月30日といたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.tomoku.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 トーモク

TOMOKU CO., LTD.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル4階
TEL.03-3213-6811 FAX.03-3213-2825
<https://www.tomoku.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。